

L'aile d'Howl



【ライル・ドウル:ホウルの翼(仏語)】

January 2015

全国高校選抜大会県予選:男女とも不来方が優勝! 花巻南女子が東北大会への切符をつかむ☆

年明け早々に開催された全国高校選抜大会岩手県予選では、男女とも不来方高校が優勝し、岩手県第一代表として2月に青森県で開催される東北予選会への出場権をゲットしました。しかし、東北予選会出場をかけた戦いは、非常に混戦でした。



極寒の花巻市民体育館で行われた男子の試合。初日、数少ないハンドボール経験者をケガで欠く花巻北は、初戦の盛岡四高戦を20-18という僅差で競り勝ち、男子第一代表をかけた一戦に臨みます。翌日、序盤は1年生中心のスターティングメンバーを送り込んできた不来方高に対し、花巻北は阿部紘大選手や高橋友朗選手のミドルシュートで得点を重ね、前半を7-3とリードします。しかし、後半レギュラーメンバーに戻した不来方高にペースを握られ、逆転を許すとそのまま試合終了。20-12で勝利した不来方高が優勝を決め、花巻北は第二代表戦に回ることになりました。最終日、盛岡一高を下して勝ち上がってきた盛岡四高と、第二代表の座をかけて今大会二度目の勝負に挑みますが、後半の追撃もむなしく、盛岡四高が2点差で勝利。東北予選会への切符を手に入れました。なお、不来方高の中村惇平選手(花巻クラブジュニア→花巻中)が優秀選手に選ばれました。

女子の部では、第二代表戦を順調に勝ち上がってきた盛岡白百合を、第二代表決定戦で花巻南が破り、嬉しい東北予選会出場を決めました!なお、優秀選手として、不来方高の秋山日菜子選手(花巻クラブジュニア→花巻中)、花巻南高の福岡芽依選手(花巻中)が選出されました。

岩手県代表として東北予選会へ出場する男女・不来方高、盛岡四高、そして花巻南高には、岩手旋風を巻き起こす奮闘を、そして全国高校選抜大会への出場権をものにするよう、大きく期待して応援したいと思います。



岩手と沖縄の絆～ハンドボール交流事業 IN 石垣島に参加しました!

寒い岩手の地を離れ、沖縄は石垣島へ!岩手県の小学生ハンドボーラーを沖縄の離島にご招待して、現地の子どもたちと一緒にハンドボールスクールを行い、交流を深めてほしい、という目的のもと、沖縄県に拠点を置く琉球コラソンさんからお誘いを受けたのは昨年のこと。本県出身の中村彰吾選手が琉球コラソンに加入した縁もあり、今回、この素晴らしい企画が実現し、1月9日～12日まで、県内少年団より選抜されたメンバーは、岩手県選手団として石垣島へ行って参りました。私編集長が団長となり、私を含むコーチングスタッフ4名、選手男女各9名が本事業に参加しました。

出発当日朝、新幹線運転見合わせというアクシデントに見舞われましたが、なんとか羽田空港に到着。無事に石垣島行きの飛行機に間に合うことができました。到着ロビーでは、八重山ハンドボール連盟や石垣市スポーツ交流課の皆さんの歓迎を受け、石垣市がスポーツツーリズムに力を入れている様子を垣間見ることができました。

翌日、徒歩で会場の八重山高校体育館へ移動し、早速現地のハンドボール少年団である八重山シーサーズのメンバーと合流しました。その後、琉球コラソンの選手たちが会場に到着し、ハンドボールスクールがスタートしました。

石垣島での合宿を兼ねているため、琉球コラソンの選手全員が参加し、子どもたちと触れ合いながらハンドボールを教えてくれている姿がとても印象的でした。日本リーグに参戦しているチームの中でも、一部の選手だけではなく、メンバー全員が講習会に関わってくれるクラブは他に見たことがありません。沖縄の離島において数々の講習会を行っている琉球コラソンメンバーの姿勢に、素晴らしい感銘を受けました。



スクール後は、石垣島内の観光に出かけました。午前中のスクールですっかり仲良くなった岩手県選手団と八重山シーサーズの子もたちは一緒にバスに乗り込み、ともに観光を楽しみました。サンゴ礁保護研究センター「しらほサンゴ村」への訪問、野底岳という山へのプチ登山、「石垣やいま村」という観光施設への訪問など、様々なアクティビティを通じて、現地の子もたちともすっかり仲良くなりました。

1月11日は、徒歩で会場となる石垣市総合体育館へ移動。この日は気温が20度を超え、私たちにとっては初秋のように感じられました。会場はサブアリーナでしたが、ハンドボールコートが1面確保できる広さで、非常に素晴らしい施設でした。ハンドボールスクール2日目は、パスキャッチや判断力に重点を置いたメニューでした。後半はゲームを行い、チーム岩手男子 vs 八重山シーサーズ、チーム岩手女子 vs 八重山シーサーズ、そしてチーム岩手男子 vs チーム岩手女子の3試合を行いました。八重山シーサーズには低学年のメンバーも

いたため、5・6年生を集めたチーム岩手が結果的に圧倒する形でゲームを終えました。

その後、琉球コラソンによるエキシビションマッチが行われました。報道による事前周知もあったため、会場には多くの一般客が観戦に訪れていました。最初に、琉球コラソン vs 八重山高校の試合が行われました。さすがに力の差があり、17-2で琉球コラソンが勝利しました。続いて、社会人の八重山選抜と琉球コラソンが対戦しました。ここでは、八重山ハンドボール連盟様の計らいで、私と花巻クラブジュニアの佐藤慎吾コーチが、八重山選抜に急遽加わることになりました。試合に先立ち、岩手県選手団代表として会場の皆様にご挨拶させていただく機会も得、今回の事業に対する感謝を述べるとともに、2016年のいわて国体等についてPRいたしました。試合は、室内での松ヤニ使用になかなか慣れず、あまり満足なプレーができずに17-6で琉球コラソンに圧倒されました。しかし、国体でもないので日本リーグチームとゲームすることができ、私も思いがけず嬉しい体験をさせていただきました。

その日の午後の観光は、フェリーにて竹富島へ渡航。竹富島へ到着すると、すぐにグラスボートに乗船。船底が透明なガラスになっている特殊な船に乗り、サンゴや熱帯魚を観察しました。ボートを降りてからはバスで島内を移動し、水牛車乗り場へ。水牛が引く車に乗り、竹富島の中心部を周りました。その後、竹富町立竹富小学校に通う児童たちと対面し、記念品を贈呈しました。その後、レンタサイクルで自転車を借り、竹富島内を散策しました。冬期間は岩手で乗ることができない自転車での散策も、非常に楽しかったようです。



フェリーで石垣島に戻った後は、お別れの夕べに参加しました。八重山シーサーズ、八重山ハンドボール連盟様、石垣・岩手かけはし交流協会様、そして琉球コラソンの選手たちも一同に会し、あっという間の2日間を振り返りました。余興として、八重山シーサーズの子もたちがエイサーを踊り、続

いて岩手の子もたちも一緒になって太鼓を打ち鳴らしました。会の最後では、岩手県選手団から八重山シーサーズ、そして琉球コラソンのメンバーに記念品をお渡しし、2日間の交流に感謝しました。短い時間の中でも友情を深めた子どもたちは、互いに抱擁しながら別れを惜しんでいました。

今回、このような夢のような企画を実現するにあたりご尽力いただいた全ての関係者の皆様に厚く感謝申し上げます。いつか、是非石垣島からも小学生たちを呼んで、ハンドボールを通じて交流を深めることができればいいと思います。

まずは来月、花巻市総合体育館において、日本リーグ花巻大会が開催されます。今回お世話になった琉球コラソンが登場します！心からのお礼をこめて、みんなで応援しましょう！

L'île d'Howl (ライル・ドウル)
2015年1月号
2015年1月25日 発行
発行：花巻市ハンドボール協会